

平成29年度
栗原市議会
議会報告会報告書

(平成29年10月31日～11月2日)

平成29年12月
栗原市議会

～ 目 次 ～

1	平成29年度議会報告会の開催状況	1
2	平成29年度議会報告会における意見・要望事項	
(1)	〔地区別、部局別〕質問項目一覧	2
(2)	栗原市議会関係	3～4
(3)	総務常任委員会所管関係	5～10
(4)	産業建設常任委員会所管関係	11～14
(5)	文教民生常任委員会所管関係	15～18
(6)	指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会所管関係	
		19～20

平成29年度栗原市議会議会報告会開催状況

1 開催日時等

開催日時	地区	会場	担当班	参加者数(人)		
				男	女	計
10月31日(火) 午後6時から	築館地区	市民活動支援センター	第1班	4	0	4
	志波姫地区	この花さくや姫プラザ	第2班	30	1	31
	栗駒地区	栗駒総合支所	第3班	23	2	25
	一迫地区	一迫総合支所	第4班	10	0	10
11月1日(水) 午後6時から	金成地区	金成生涯学習センター	第1班	10	0	10
	瀬峰地区	瀬峰総合支所	第3班	15	2	17
11月2日(木) 午後6時から	鶯沢地区	鶯沢振興センター	第1班	11	0	11
	若柳地区	若柳多目的研修センター	第2班	13	0	13
	花山地区	花山石楠花センター	第3班	12	1	13
	高清水地区	高清水総合支所	第4班	6	1	7
計				134	7	141

2 班編成

第1班	第2班	第3班	第4班
五十嵐 勇	小野 久一	佐藤 千昭	佐藤 庄喜
三塚 東	高橋 義雄	高橋 勝男	澤邊 幸浩
佐藤 悟	高橋 渉	高橋 将	佐藤 範男
三浦 善浩	佐藤 久義	菅原 勇喜	鹿野 芳幸
佐藤 文男	佐藤 勇	阿部 貞光	石川 正運
濁沼 一孝	相馬 勝義	佐々木 嘉郎	沼倉 猛
菅原 正剛			瀬戸 健治郎

平成29年度栗原市議会議会報告会〔地区別、部局別〕質問項目一覧

(単位：件)

部局名等	地区名										計
	築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山	
議会	5		1		2	2		1		2	13
総務部	3	2	4		2		3	4	3	2	23
企画部	4	5	1	2	1	1	3			1	18
市民生活部				2	2	2	1	2	1	1	11
建設部		1		2	2	2					7
産業経済部	3	2	6	1	4	3	4	2	5	4	34
(うち、放射能汚染関連)	(1)	(1)	(2)	(1)	(3)	(1)	(1)		(3)		(13)
上下水道部	1			1							2
教育部	1	1				3		3	1	1	10
消防本部							1				1
医療局						1	1				2
計	17	11	12	8	13	14	13	12	10	11	121

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

1 議会関係 13件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	議会報告会について、午後6時開会はきつく、30分ほど遅らせてほしい。	意見として承る。	築館
2	昨年も来たが、今回は人数が少な過ぎ、議会と一般市民の意識が乖離している。議会のモニタリング制度をつくってはどうか。モニターを募り、議会を見てもらい、質問の内容など意見交換する。市民と議会を近づける工夫が必要ではないか。	9月定例会で、議会のあり方調査特別委員会を設置した。議員定数、ICT化、報酬、政務活動費、議会運営などの3つの分科会で検討し、出来るところから取り組んでいく。議員のアンケート調査では、開かれた議会のための様々な意見も出ている。いただいた意見についても調査していく。 議会基本条例の先進地である北海道栗山町議会では、議会モニター制度を導入している。そういったことも参考にしたい。	築館
3	政務活動費を使い、視察など調査研究をするなら、常任委員会や特別委員会の視察研修は必要なのか。視察研修のあり方を検討すべきである。	議会のあり方調査特別委員会で検討していきたい。なお、政務活動費は、すべての会派や議員個人が使っているわけではない。	築館
4	政務活動費の適切な使い方をチェックするには、会計士などの第三者を入れて確認する必要があるのではないか。	会派の視察は、政務活動費のガイドラインに基づき計画し、内容は事務局職員に確認してもらい、議長の許可を得ている。不適正な使い方はしていないと断言できるが、第三者の必要性は、特別委員会で調査すべきと感じる。	築館
5	(要望) 少子高齢化が進み、人口が減り、交付税、市民税も減る。財源が減る中で、事業が縮小されてくると思う。何が優先的な事業かがこれから問われてくる。事業の選択、栗原市のあり方について、議員にも良く考えてほしい。	意見として承る。	築館
6	議会報告会のあり方として住民参加の場の確保、意見交換の場としてさらに良くしてほしい。	意見として承る。	一迫
7	人口が年間千人減っている。議員定数の見直しが必要と思う。併せて議員報酬も登米市や一関市より高い。	先の9月議会で、栗原市議会のあり方調査特別委員会を設置している。その中で調査検討する事になっている。	栗駒
8	「核廃絶宣言」を通して、栗原市環境基本計画の推進を働きかけてもらいたい。また、そのための市民との話し合いの場も必要である。	意見として承る。	一迫
9	議会報告会の6時開催は厳しい、7時頃だと思いたい。	委員会で検討する。	瀬峰
10	政務活動費について知りたい	年に2回、月に2万5千円が支給となる。支給=個人のものになるというシステムではない。	瀬峰

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
11	議会を欠席している議員がいる。昔は入院しても抜け出して採択の日は出席したと聞いている。	意見として承る。議員の考えさせられる行動について、9月議会で議会のあり方調査特別委員会を設置した。議員定数や報酬、ICTなど3分科会で検討していく。その中で提言されたことを検討し、できることから少しずつやっていく段取りになっている。貴重なご意見をいただいた。	金成
12	議会のあり方調査特別委員会の調査終了を期限を決めて行うべきではなかったか。	① 決まったことからできるだけ速やかに実施するということである。	花山
13	議会のあり方に関する調査特別委員会について聞きたい	調査期限は設けていないが、決定された順から随時実施していくことにしている。分科会は3つで、「議員定数とICT」「議員報酬等」「議会運営等」のそれぞれの分科会にて協議を進めていく。	花山

2 総務常任委員会所管

42件

1 総務部関係 23件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	人事制度の調査の所見について、市の臨時職員の割合、臨時職員の年齢構成はどうか。正職員と臨時職員では給与面で違いがあり、正職員を増やして若い人が定住するのに収入面でバックアップすれば意欲が違ってくると思う。その辺の手当てをお願いしたい。	正職員の人事評価制度ということで、正職員と臨時職員の割合等は把握していない。行政職だけで約600人で少しずつ減っている状況である。	築館
2	兵庫の視察先の事例を紹介してほしい。	明石市では、住民サービス向上のために職員の人づくりに重点を置き、職員の資質向上のための人材育成型の人事評価制度に取り組んでいる。採用試験においても受験者のやる気を重点ポイントとしている。	築館
3	宮野地区で林野火災があったが、自主防災組織や自治会役員など日中で勤めている方が多く、支援体制を取るのが困難だった。地元の市職員に応援に来てほしかった。	市職員が応援できることにも限りがあるので、自助・共助の観点からもコミュニティ組織を有効に使っていただきたい。自分たちの地域は自分たちで守るということも原則かなと思う。	築館
4	総務の人材育成は重要でありやるべきで、住民と一緒に考える職員を育ててほしい。何事も支所は受け付けるだけで、本庁に行かなければ用事が足せない。	総務常任委員会で行政視察を行った三重県名張市では人口が3万人から5万人に増加したが、職員数はそのまま地域に大きな負担をかけている。区長もおらず市の広報も新聞折り込みであった。また、兵庫県明石市では弁護士を7人採用するなど、人材育成に力を入れていた。	若柳
5	人事評価は慎重に考えるべきである。学校も人事評価を導入してから問題が多くなってきている。	意見として伺う。	若柳
6	ミサイルも考えなければならない。地下もないし2階建ての避難所もない。総合支所や集会所は避難が可能な施設にすべきでないか。	意見として伺う。	一迫
7	救急車の連絡から到着までに必要な時間は？ 救急車の到着時間が長い地域には、AEDを設置すべきでは？	平均で11分、最長は栗駒耕英地区の45分。 市内では総合支所、文化施設、スポーツ施設など80台を設置している。	栗駒
8	人事評価制度が今ということには驚きである。今までの人事はどうしていたのか？	人事権は当局が持っている。今回の調査は国の制度に基づくもので、業績評価と能力評価の2本柱で、評価結果の開示や苦情処理期間もある。	栗駒
9	国保税が高い、見直しをしてほしい。	来年度から国保の運営が県一本になる。新聞報道では栗原市は引き下げ対象自治体になっているが、市の方針は未定である。議員は国保税は高いと感じている。	栗駒
10	選挙公報が来ないうちに、期日前投票が行われる。候補者の考えや政策がわからない中で投票行為が行われることは問題である。	意見として伺う。	栗駒
11	市道「六角嶋線」において、通行車両によっては猛スピードで走行している車両もある。大変危険であり事故につながりかねないので、市としても注意喚起するような看板の設置を望む。	当局に伝える。	一迫
12	人事評価制度とは、市職員を対象としたものか。	そのとおり。市の正職員のみを対象としている。	鶯沢

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
13	総合支所において、職員は挨拶をきちんとしてほしい。総合支所に行きたがらない人もいそう。行って「何をしに来たのか」という感じの職員もいるし、とても丁寧な職員もいる。人事評価制度は、市職員のみならず、一般市民からもアンケートをとるなどしてはどうか。	人事評価制度は、地方公務員法の改正により始まった。待遇とはまた別に、職員の能力を引き出すため、業務の目標を決め、自己評価をしながら取り組んでいる。あくまでも職員の自己啓発のための人事評価制度である。	鶯沢
14	火災について、防災無線は合併してから鳴らさないと聞いたがそれは本当か。	総務常任委員会でも、それらについて調査をしていきたい。	鶯沢
15	人材育成に関連して、窓口の対応の目線が高いような気がする。同級生みたいな感じで話しやすいですが、もう少し目線があってもいいのではないかと。結論を早く出してほしい。質問の返答を上司も早く出すようにしてほしい。わからない時は、後で連絡するとかしてもらいたい。	栗原市は本年4月1日から人事評価制度を導入した。地方公務員法改正によって地方自治体は人事評価制度を導入することになった。すでに導入している明石市を視察し、窓口とか仕事の仕方、全体的に住民サービスが向上すれば良いということでも市でも取り組んでいる。当局に届ける。	金成
16	市職員はかなり無理しているのではないかと。勤務時間オーバーして仕事をしているし、その後のケアをされているのか心配している。適正な人数配置され、仕事の量も大丈夫なのか、その上で職員に求めるのはいいが、能力を発揮できるようなカバーをしないと職員は大変ではないか。合併当初10人近い職員が自殺しているというデータもある。臨時職員を使って職員を減らしているのもわかるし、その分職員ががんばらないかという感じもしますので、見守っていただきたい。	職員の人事に口を挟む立場でもないが、今回視察した人事評価制度を参考にしていきたい。平成27年度は一般行政職617人、平成28年度は605人、12人削減されている。栗原市のお金の使い方にも書いているが、人件費の経常経費を抑えていかないといけない。職員を減らす方向ではあるが、削減幅は以前よりもぐっと圧縮されている。但し心の病で休職している人も何人かいるようだ。平成29年度病院を除いた非常勤職員・臨時職員は384人おり、職員の補佐をしている。私たちも見守っていきたい。	金成
17	いつも残業するのは同じ部署。職員の増強も考えられるのではないかと。夜間電気が午後10時以降もついているのは、築館と金成の同じ場所。職員間の協力体制を考えるべきではないか。	当局に伝えておく。	金成
18	先日職員が家に来た時に、職員が横座に座った。だから怒って、追い返した。その後、千葉市長に連絡し、このような職員がいたと話した。職員にもなぜ怒られたのかわからなかったら連絡よこせと話したが、連絡来なかった。田舎には田舎のシステムがあるので教えてほしい。	若い人は上座に平気で座ったりするが、年配者が誘導するのも和やかに話しが進む方法ではないかと思えます。	金成
19	職員の質の向上が大切だと思う。市になって11年になるが前の町の方が良かった。市になってよかったという人がいない。本気になって市民サービスを考えているのだろうか。住民が増えたのでごみステーションの設置を要望したが実現まで3年かかった。あまりに遅い。職場にマンネリがないのか、職員に決定権がないのではないかと。	持ち帰って市長に伝える。	志波姫
20	志波姫内の狭い道路をスピードを出して走る車がある。危険なので調査してほしい。	車の件は担当部に伝える。	志波姫
21	名張市の夢づくり交付金とはどのような制度か。	人口の増加に対応できないため、区長制度に変わり、使途自由な交付金を交付し、すべてを自治会に任せるといった支援制度である。	志波姫

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
22	幼稚園関連で教育課に電話したが、先生の異動に関して、人事のことは人事課に聞いてと対応された。その後、人事課に電話し謝罪し回答を得られたが、職員の電話対応が問題だと思う。	職員の接遇に関してはこれまでも市民から意見が出ている。ワンストップサービスや、職員の対応向上により、住民サービスの向上につながるよう求めていく。	花山
23	市の職員に名刺を渡しても名刺を渡されないことがある。基本的なところから職員を教育するべきだ。	意見として承る	花山

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

2 企画部関係 18件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	自治会には若い人が入ってこない。小・中学校PTA役員が自動的になってもらっているが、恒常的に役員になっていない。名張市「ゆめづくり協働塾」では、若手が育っているのか。育っていれば、テクニックで栗原市でも取り組んでほしい。	名張市の協働塾75人の方を対象に平成25年から実施している。講師の先生を大学や地域づくり組織から講師を招いて色々やっているが、名張でも成果があがって後継者が育っているようではない。しかし、人づくりは努力していかなくてはならない。	築館
2	地区の会議で市民活動支援センターを使っているが音響が悪いので改善してほしい。(議員には関係ないが要望)	要望として承り、当局に伝える。	築館
3	コミュニティー一括交付金について、前よりは手厚くなったが、もう少し交付金を手当てしてほしい。自主防災組織の運営費は入っているのか。	選択項目のメニューに自主防災組織活動支援事業があるので、自治会長等と相談して、市の窓口を確認してはどうか。 なお、名張市の一括交付金制度は、栗原市とは異なり、事業のメニューを設けず、地域に一定額を交付し、それを地域が自由に使い、積み立てすることもできる。	築館
4	合併後、市の顔となる市街地がない。中心の賑わいづくりに取り組み、活力ある栗原市にしてほしいという要望です。	くりこま高原駅から宮野地区までのエリアを活性化のための拠点として整備する方向である。そこから、一迫までの道路も整備される予定である。道路に関して、築館バイパスについては入の沢遺跡の関係で進まない状況がある。中央病院から高原駅までのルート計画、県北高速幹線道路と東北自動車道の結節点にインターやジャンクションの計画もある。千葉市長は道の駅構想も考えているようである。	築館
5	自治会運営でパソコン・プリンターは必需品であるがコミュニティー一括交付金に算定されていない。この経費も一括交付金で考えてほしい。	要望として承り、当局に伝える。	若柳
6	有賀地区は、コミュニティーの事業量が多い(6~7ある)。一括交付金を事業量に応じて交付してほしい。	要望のあったことは市長に伝えるが、区長の皆さんは市長との懇談会の際に直接市長に話してはどうか。	若柳
7	行政区に集会所が2つある。水洗化・ウオッシュレット化で毎月の経費の支払いが多くなったが区費の値上げがむずかしい。一括交付金の引き上げをしてほしい。	要望のあったことは市長に伝えるが、区長の皆さんは市長との懇談会の際に直接市長に話してはどうか。	若柳
8	集会所にエアコンを設置したいが、電気料のことを考えると設置できない、熱中症対策として電気料の負担をお願いしたい。	要望として承り、当局に伝える。	若柳
9	区長の力量によってコミュニティーが希薄になったり、地域性に差がついてないか。	意見として伺う。	若柳
10	空き家バンクへの入居状況は?	関東から栗原に引っ越している方もいる。件数に関してはすぐに答えられないが、今後も継続していくと聞いている、議会としても今後も支援していきたい。	栗駒
11	市の道の駅構想はどこまで進んでいるのか。場所は国道4号沿いが適当と考える。なお、市長カフェでも話しをしてみる。	道の駅構想は、市長の選挙公約で6月議会で質問し、これから検討委員会を設置し、推進していくとのことである。 6月議会で一般質問したが、市民協働でつくりたいとのことで、委員会を設置し市民の声を聞いて進めるとのことである。	高清水

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
12	三重県名張市の「ゆめづくり協働塾」について、具体的に説明して欲しい。	総務常任委員会の先進事例調査として三重県名張市を行政視察した。市民の機運が高まり、行政支援として使途自由な交付金「ゆめづくり地域予算制度」を創設した。市発展の要となる人材育成を目的とした「ゆめづくり協働塾」を開設した。若い人も含め、地域づくりに一丸となって活動し、推進効果も大きい。	高清水
13	交通体制において、市民バスの利用が不便で乗り継ぎのアクセスも悪く困っている。デマンドバスも買い物など十分にできないので改善して欲しい。弱者の声を拾って欲しい。(弱者の声が届いていない)	当局に伝える。	一迫
14	行政区の合併は考えているのか。運動会も大変である。	行政区の統合については、行政が画一的に押し付け的に進めるものではないと考えている。地域からの要望がある場合にのみ検討するということがある。	瀬峰
15	栗原市のコミュニティ一括交付金について、もっと詳しく内容を説明してほしい。	基本項目として、自治会やコミュニティ推進協議会に対し、均等割と世帯割による運営費、昨年度からは敬老事業分も交付されている。活動支援の独自項目は、自治会に対し上限3事業まで、コミュニティ推進協議会に上限24万円で交付される。選択項目として5つのメニューがある。平成28年度の交付実績は、全体で9,900万円となっている。	鶯沢
16	コミュニティ一括交付金の制度は立派だが自由度が低い。高齢化が進み、地域でリーダーシップをとる人が不足している。前市長は1,000人雇用と言っていたが、本当にできているのか。若者が定住しないことが人口減の要因である。空き家も年々増えている。働き先がないのが実状である。	名張市では、地域や行政の役割について地域内分権を進めている。ゆめづくり地域交付金制度では、従来の補助金を全廃し、一括交付金に移行している。小学校区単位の推進協議会を中心に、地域が自分たちで自由に使うことができる交付金であり、余ったら基金として管理している。後は、ゆめづくり協働塾により、住民の研修を行うなど、人材育成に取り組んでいる。そのような事例を視察しており、栗原市でも参考にできるのではないかと考えている。	鶯沢
17	各総合支所長が決められる範囲が狭い。例えば、施設の電気が切れている、マイクが使えない場合などたくさんある。予算の権限をいくらまで与えているのか。	総合支所は住民サービスの最前線であり、そうしたことがあるとすれば、反省すべき点もあると思う。私の記憶では、500万円まで総合支所長の権限があるが、一度本庁に伺いを立てるようである。風通しを良くするためには、総合支所長の権限は必要と思う。市長も総合支所機能の強化を政策として掲げており、我々も担当委員会で協議するなど何らかの形で伝えたいと思う。	鶯沢
18	花山にきて15年、栗原市にはいろんな行事があり、参加をしたいと思っている。市の広報の行事予定表をもう少し早く出してほしい。また、字も大きくしてほしい。	どなたが見てもわかりやすい掲載方法ができるよう行政に伝える。	花山

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

3 消防本部関係 1件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	先日鶯沢で火災があったが、消防車がサイレンを鳴らしていなかったため、隣家の方も火災に気づかなかったとのこと。野次馬が来て消火活動に支障をきたすため、鳴らさないという方もいるが、対応はどうなっているのか。	防災無線については、延焼の可能性があれば知らせるが、野次馬が消火活動の妨げになることから、放送していない。消防車については、サイレンを鳴らしていると思う。消防車は緊急車両であるため、鳴らしているはずである。確認する。	鶯沢

3 産業建設常任委員会所管 30件

1 産業経済部関係 21件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	栗駒山麓ビジターセンターは、いつから利用できるのか。展示の中味、どういう人たちが担当して運営していくのか。	来年12月にオープン予定である。つくりが施設にマッチした内容である。 地域の集会所にも使用できる。防災教育の場所、地域の活性化、観光として多くの方々に来ていただいで観光に結び付けようと考えているようである。運営形態は、まだはっきりとしていない。 荒砥沢ダムの崩落、地質の成り立ちが基本。栗駒山の春夏秋冬を映像で流したりする。ジオガイドが説明する所もある	築館
2	世界谷地の第一湿原、第二湿原の木道工事はどうなっているのか。	第一湿原は工事が終わり、第二湿原はまだ来年も工事が続く。県は完了するまで工事を実施する。	築館
3	区域内にため池が7～8か所ある。土手の改修は地区でも行っているが、水が漏れているところがある。	要望のあったことは市長に伝えるが、区長の皆さんは市長との懇談会の際に直接市長に話してはどうか。	若柳
4	栗駒地区への工場誘致が少ない、工場を増やしてほしい。	築館インター工業団地は完売、若柳金成インター工業団地は2区画残っているが、栗原に進出したい企業の声も多く、優良企業に販売できるように検討している。今後の工業団地のあり方が課題である。	栗駒
5	古民家活用制度について、岩ヶ崎で開店予定の店があるようだが開店していない。助成金だけもらってやめたのか？	かかった経費に関して助成が行われるので、助成金だけもらって開業しないということはない。時期に関しては、あくまでも事業主のタイミングとなる。	栗駒
6	似坂線(林道)の舗装を行なっているが、砂利が国道まで流れてきている。今後も継続して舗装を実施してほしい。	当局に伝える。	栗駒
7	イノシシ、さる、しか、数が増えている。去年は81頭の猪を山に穴を掘って埋めて処分している。市の処分所を作って欲しい。 白石、丸森は、猪1頭捕獲すると2万円もらえる。市でも考えてほしい	当局に伝える。	栗駒
8	「栗駒山麓ジオパークビジターセンター」の、設立の趣旨について伺う。 また、整備しても、来場者数はそれほど見込めるとは思えない。 整備にあたって、利用価値を高め、価値あるものにしてほしい。	ジオパークビジターセンターは、栗駒山麓全体のジオパーク構想を知っていただくためのガイド的な役割を果たすものとする。市外からも観光として来場してもらい、ジオパークについてよりわかりやすく理解していただくことが狙いである。栗駒山へのアクセス道路に接する旧栗駒小学校を再活用できることも立地として有効であると思う。今後、整備にあたって利用価値を高め、来場者が望むような施策については市当局の判断となる。	一迫
9	業には農業政策と地域政策のバランスが大事である。農業のみを進めると、地域が衰退してしまう。栗原の場合、地域政策が大切と思うがどのように考えているのか。	① 多面的機能は農家を育てていく、地域の農地の管理をその地域の人に支えてほしいというのが目的である。農業従事者の方が、これ以上減らない方向でいくべきだとは思う。	瀬峰

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
10	遊休農地の課税強化(固定資産税)に関して、国の方針としてどうなっているのか?	国では、遊休農地の課税の強化が決定した。	瀬峰
11	「遊休農地の課税強化や公示制度」により、遊休農地をなくしていくという意志はわかるが、来年から農家の戸別所得補償制度がなくなり、農家にとっては厳しい。課税されても農地が使えなければ困る。どのように考えるか。	議員側でもその意見は出ている。国では遊休農地に課税をすることで、何かをやらせようという考えであるが、現場では排水や日当たりが悪いなど、何もできないからこそ遊休地になっている。上の方に申し上げる機会があれば、その意見を伝え、現場にあった政策をしてもらいたい。但し、まだ具体的なものは出ておらず、混乱が生じる恐れがある。議員側も現場を重視した方策を望んでいる。	鶯沢
12	過疎は生活基盤がないことが第1の原因である。農地があっても人を残すには、何か目玉になる作物の研究をして、農業を活発にしてほしい。企業によるパブリカもあるが、市としても研究して、ここの土壌・気候にあった作物をつくり、人が残り生活できるような方策を望みたい。	各工場団地にほぼ企業が張り付き、人が残るきっかけとなっていると思う。農業については、農協でもズッキーニなどに取り組んでいる。やる気のある人に対する様々な支援策もあり、市でも農協と連携することを市長も話している。その中で良い方策が出てくると思う。やる気のある人が出てくればと願っている。 文字では行者ニンニクを栽培する方々やコケの商品化に向けて取り組んでいる方々などの事例がある。みんなで積極的に取り組んでいけば、良いまちづくりに進むのではと思う。	鶯沢
13	作物の売り込みも応援して、名物を作ってほしい。農地を活用して、少しでも人が残ってもらえるような政策をお願いしたい。	市では6次産業を推進し、生産から加工・販売まで一括して行う団体を育成している。例えば、一迫「土里夢」のシャーベットなどにも支援し、今は自立して様々な所で出店している。おいしいものを作れば、遠くからも客が訪れる。	鶯沢
14	有害鳥獣対策が後手後手に回っている。ホームページを見ると立派な計画を作っており感心したが、予算を調べると300万円弱だった。立派な計画書を作っても予算が少ない。被害対策をもっとやってほしい。ハコモロ造ってそこには何千万も使っている。予算伴った実のある計画をお願いしたい。	今年はクマ、イノシシが非常に多い。国でも保護から管理する方向に見直しがされている。それに伴って県でもそういう計画が作成されている。市でも有害鳥獣保護許可、登録事務扱い、要綱、要領の改正等をしている。鳥獣対策実施隊も90人位で、そこに予算化していると思うが、被害に即応した対策対応がなかなか出来ていないと思う。議会でも関心を持って取り組んでいく。機会ある度に市にも申し上げていく。 一般質問でも鳥獣対策について取り上げている。行政の方で中々予算を出してくれない。今後も行政に議会として粘り強く要請していきたい。	金成
15	有害鳥獣対策については、市全体を把握して、どこにどれくらいいるのかを把握して、市へ要請してほしい。サルも出てきている。	県とか警察とも連携が必要で、きちんとしていかなければいけないと考える。	金成
16	遊休農地の課税強化とは何か。	課税強化は、荒らしている農地の固定資産税を高くする制度だが、栗原市では導入していない。	志波姫
17	来年から転作交付金が無くなるがどう考えるか。	国では受け皿を作れと言っている。確認していないが、栗原市でもこの受け皿づくりをしているはずである。	志波姫

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
18	「湖畔のみせ 旬菜」が、当初の目的に沿ってやられているのか、議員もチェックしてほしい。	② 農林水産物の販売があったと思うが、実際にはそれで運営ができないという現状も聞いている。本来は生産組合の生産物を販売することを基本として、適正な店舗活用をしていただきたいと考えている。	花山
19	花山は耕作放棄地が増えている。荒れないように地域での保全をおこなっているが、高齢化により負担である。耕作放棄地が増えない施策などを検討してほしい。	栗原市は耕作放棄地が増えている状況があるが、耕作放棄地の改善が進んでいるわけではないので栗原市の課題となっている。耕作放棄地の改善の助成制度を使いながら、地域でも改善に向けて取り組んでいただきたい。	花山
20	差し押さえになっている農地があるが、そこは耕作放棄地として課税強化になるのか？	持ち帰って調査する。	花山
21	青色申告していないと収入保険制度が使えないのだが、農家の方に青色申告の方法をどのように啓発していくのか。	収入保険制度は農家を守るための重要な制度であり、青色申告については農協が簡易方式を指導している。	花山

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

2 建設部関係 7件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	迫川の決壊と内水問題が課題である。調整池も考えたかどうか。	当局に伝える。	若柳
2	異常気象が多くなり、ゲリラ豪雨も多い。河川内の支障木も繁茂し、氾濫の原因になっているのではないかと。国・県に働きかけ、未然に氾濫防ぎ河川整備を考えて欲しい。	平成28年より迫川水系河川整備の30年計画がスタートした。増水時の対策として長沼ダムの整備が2年前に完成した。これからは、迫川、二迫川、三迫川と上流域の整備になる。河川整備は長期計画で、70年間でここまで実施された。今後も河川整備について県に要望して行く。	高清水
3	高清水新堤自然公園の管理棟、洗い場も老朽化で活用されていないので、改修整備をすべきではないか。被害を受けた松林を伐採し、パークゴルフ場に整備してはどうか。	市では、年2回草刈りをしたようだが、改修については市当局に伝えたい。	高清水
4	一迫ゆり園に行く道路の一部が湧水して車の走行に支障をきたしている。事故にもつながるので、ガードレール等の整備が必要である。	当局に伝える。	一迫
5	市の主要幹線道路の舗装整備だけでなく、支線的生活道路の舗装整備も推進して欲しい。	当局に伝える。	一迫
6	高清水～瀬峰間の上富地区県道1号線の冠水について、県・市の所管の違いを超えて、根本的な対策が必要と考える	県道1号線の冠水については、洪水防水機能を作ったが機能しなかった。根本解決に向けて議論していく必要がある。そのほかの点に関しても大至急安全に必要な対策をとる必要があるだろうと考える。	瀬峰
7	瀬峰駅前から公民館までのカーブの改良、県道1号線の整備を進めてほしい。	しっかり検討させていただきたい。	瀬峰

3 上下水道部関係 2件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	市は水道管の老朽化の検査を行っているが、市全域で行われるのか。また、水道管が未整備の地域は、どういう対応をしているのか。	石綿管の交換を主に行っている。水道管は新設する所もあるが、予算が限られ、費用対効果を考慮すると、戸数がごく少数の所は出来ない状況である。	築館
2	上水道の配管について、古い管は何年経過しているのか。耐用年数は何年か。福岡県福岡市で破裂があった。安全安心のため栗原市では3～50年で交換しているのか。	石綿セメント管は順次交換している。詳細なデータはない。石綿セメント管は約40年になるが、破裂なく漏水の都度交換している。経年劣化は築館地区が多い。交換は数10kmあり年数がかかる。詳細データはないが、市当局への問い合わせも良い。	高清水

4 文教民生常任委員会所管 23件

1 市民生活部関係 11件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	ペットブームとなり、飼い主が責任を持ってペットを飼育しなければならないと考える。犬・猫の管理について広報等でも掲載して欲しい。犬の予防接種は徹底して欲しい。	犬の予防接種をしていない飼い主に市から連絡がある。野良猫の捕獲はしていないので、文教民生常任委員会での話題としたい。 無登録の犬もいる。獣医師に連絡すれば予防接種ができる。クリーンセンターで火葬をすれば領収書が交付される。 死亡の届出を出していないケースもあると考えられる。	高清水
2	高清水地区は、大崎市古川地区の病院を利用する人も多いため、市外の医療機関の指定を広げて欲しい。予防接種の金額については、医療機関ごとにまちまちであるので、統一して欲しい。	高清水地区の医療機関を利用して欲しい。	高清水
3	「くりはら元気アップ体操」について、体力の維持・改善の効果が見られたとあるが、議員は、この体操を実践しているのか。	議員個人での事は実践と効果・改善については何とも言えないが、私個人としては、この体操を実践して体力維持に効果は見られたと思う。 今後、議員間でも積極的に奨励し、市民の皆様にも進められるようにしたい。	一迫
4	地域社会づくりにおいて地域の支え合いが必要というが、「生活支援サービス」を担う多様な事業者との連携も、現在地域を担って欲しい若者の定住においても希薄な展望の中で、本当に構築していけるのか不安に思える。	栗原市の高齢化率も年々高くなっているが、介護施設における職員不足なども問題となっている。今後は、高齢者が住み慣れた家や地域で、できる限り自立して安心してくらせる地域づくりを地域住民全体が参画して取組む「自助・共助・公助」の協働における「地域包括ケアシステム」の構築を進めるべきである。	一迫
5	介護支援について、オムツの補助について登米市では介護認定の度合いに関わらず補助があるようだ。栗原でもできないか？	登米市の内容は即答できないが、改善要望ということで市の方に伝える。	瀬峰
6	今年から新生児(0歳児)の補助が始まったが、現在の1-2歳まで適用してほしい。	要望として承る。	瀬峰
7	社会福祉協議会では、花山と鶯沢で軽ワゴン車の送迎するサービスをしており、自分も運転手であるが、この送迎は12月で終了と聞いた。高齢化が進む中、重要なサービスであり心苦しい。廃止の理由はわからないが、何とか延長してほしい。	具体的内容は把握していないので、持ち帰り、現状を調査し、委員会でも検討したい。	鶯沢
8	一昨年市役所にスズメバチの駆除を依頼したが、業者を紹介するので自分で対応するように言われた。市役所でやってくれないのか、そんな所も頭に入れておいてください。	要望として承る。	金成
9	自宅近くの県道壇の原の土地に一時駐車場所なのか廃材置き場にしている。油とか出ると大変なので、機会あったら見てもらい考えて頂きたい。	私も見たことがある。廃車みたいなものを集めてあって、不法投棄ではないと思います。 支所に相談された方が良いと思います。 行政に伝えておきます。	金成
10	元気アップ体操が良いのであれば、全地域に広げてほしい。	今は申し込みがあった所でお茶っこ会などでしている。市民生活部に広めるよう伝える。	志波姫
11	国民健康保険の都道府県単位化について、固定資産税の資産割の取り扱いはどうなるのか？	県の方針としては固定資産割をなくすとなっているが、 可能な市町村は3方式、均等割・平等割・所得割とすることとなっている。栗原市がどのようにするかはまだ決まっていない。	花山

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

2 教育部関係 10件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	田尻の加護坊山パークゴルフ場は、全国レベルの大会もできるような施設として経費をかけたが、その分、運動する高齢者が増え医療費が減ってきていると聞いている。自治会で小田ダムパークゴルフ場を使おうとしても市外の予約で土日が埋まっていた。	大変貴重な意見である。関係性については認識していないが、パークゴルフ、レクリエーションや元気アップ体操の普及により、健康づくりが進めば、医療費も減ると思われる。方向性として間違っていないと思う。今後調べてみたいと思う。	築館
2	区の集会所がなく公民館を使わせてもらっているが古くなっている。今後若柳公民館をどうするのか。今、ほとんどの建物を平屋で建てているが、水害避難所にもなるように2階建ての頑丈な建物にしてほしい。(ドリパルもアスパルも浸水地域である)	若柳公民館については菅原勇喜議員が一般質問をしている。	若柳
3	瀬峰と高清水中学校の再編が平成31年4月になっているが、校舎や通学路、防犯灯、中学校への入口が鋭角になっているのでスクールバスが進入する場合の問題など多くの課題がある。議会としても調査してほしい。	子供の命を預かる以上、安全対策が必要。議会で訴えているが、現時点では道路の反射板がついた程度である。	瀬峰
4	中学校の再編に向けた環境整備が進んでいない。駐車場の確保や旧建物の撤去なども含めて進めてほしい。	意見として承る。	瀬峰
5	図書館の充実を願う。寄贈される方がいるので、寄贈者の募集を啓蒙してはどうか。	意見として承る。	瀬峰
6	ホッケーの管理棟ができた。人工芝の張替えに大変な予算を使った。人工芝は今使えないので、オリンピック誘致しても来ないのが当たり前である。それなのに何で管理棟を建てたのかと思う。前市長がオーストラリアまで行って、誘致活動してどうなったのかと思う。そういう設備なら向こうで相手にしないのではないかと思う。なぜ管理棟を建てたのか。無駄なことをやっている。議員がしっかりチェックをしないといけないのではないか。その頃のホッケーの会長は阿部議員ではなかったか。管理棟造ってどうするのか。県でホッケー協会は栗原しかない。皆さんも賛同したのだから、今後どうするのかと思う。	平成25年～26年にかけて、ホッケー会場に5億5千万円位かけて芝の張替えを行った。それがオリンピック基準に該当しないと最近耳に入った。おっしゃられるとおりですので、上の方にも伝えておきます。(オーストラリアは)来ないそうです。責任は感じます。一定の規格の元を実施するものだと思っており、規格外とは思わなかった。その様な専門的な知識がある議員がいるかと思いました。議会にはある程度固まってから全員協議会に提案がある。我々はそれに対してあまり反対できないのが現状です。意見は述べるが、覆すとかできない。	金成
7	「学府くりはら」とは何をやっているのか。優秀な子どもがどんどんいなくなっている。中高一貫校にして、進学校みたいなのを考えているようだが、本当にできるのか。そこに優秀な人を集められるのか。しっかり考えないと、優秀な人材はいなくなってしまう。出て行くのを食い止めないといけない、みんなで考えていってほしい。最近では国公立大学に受かる人はほとんどいない。最近進学で多いのは自衛隊で優秀な人は結構行っている。それでいいのかなと思う。	教育長は今の方向で行くと思います。秋田の方にも研修に行ってますし、それが最良だと考えているようだ。それ以上のことは市長と懇談会でお話しいただければと良いと思います。人材確保の観点から、地元企業に就職すれば返済免除という奨学金制度というのも検討されています。貴重なご意見として伺います	金成

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
8	金成小中一貫校の総括はしているのか。良かったのなら他もやった方がよい。今の栗原市政は、築館高校OBだ、教育長も副市長も、教育委員もほとんど築館OBである。人選は誰がやっているのか。地域で相手にしないような人が役職に就くのかと思う。合併して13年過ぎるが、地域意識が強い。栗原は一つという思いで、地域根性を無くしてやってみてどうか思う。	小中一貫校も4年目で、良い面は1年から9年生まで切れ目がなく、中学生が小さい子の面倒を見るといことで縦割りであり、いじめが起きにくくなっている。市教委でも効果として現れるのはこれからだろうとしている。	金成
9	築館のホッケー場になぜ管理棟が必要なのか。志波姫の体育館が老朽化しているので大きな体育館がほしい。(雨で運動会が中止にならないようにも)	ホッケー場については、佐藤勇前市長の東京オリンピックキャンプ誘致への強い思い入れがさせたことであり、議会においても議論された。公民館と体育館をあわせた施設を構想中である。もう少し待ってほしい。	志波姫
10	花山の子供の体力が落ちていると聞く。通学の変化や少子化、犯罪の心配もあり子供の体力低下に繋がる環境になってきていると思うので、低下しない方策も検討してほしい。	栗原市全体で見受けられる内容である。学校や地域、家庭でも取り組んでいくべき内容だと思われる。	花山

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

3 医療局関係 2件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
1	<p>県立循環器呼吸器病センター跡地は特老施設にしてほしい。低所得者でも施設に入れるように対策を考えてほしい。</p>	<p>跡地利用に関しては11/2に提出期限となっている。現在(11/1)までに1社の応募があったようだ。今後話が進められるだろうが、低所得者の方々が入れる介護施設ができるかどうかはわからないが、議員としても心を痛める内容なので、貴重なご意見として受け止める。</p>	<p>瀬峰</p>
2	<p>先日地元で、中央病院で朝方亡くなった方がいる。その家族が2時間ほど家を整理してくるので、ご遺体を置いてほしいと看護師に頼んだが、その看護師から「処置が終わったので早く家に連れて行ってほしい」とひどい口調で言われたとのこと。家族は、その言い方が非常に残念だったそうである。</p>	<p>病院は独立した企業会計となっており、サービスは良くなければならないと思う。病院事業管理者も患者に対する配慮はされているようである。ご意見を持ち帰り、今後調査をして改善していきたい。その看護師の対応も、先程の総合支所職員の対応も共通するものである。議会でも対応をきちんとすべきと常に申し上げており、これからも機会があるごとに申し上げていきたい。</p>	<p>鶯沢</p>

5 指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会関係 13件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
①	汚染牧草の堆肥化実験では放射性物質は不検出とのことだが、8,000ベクレル以下の稲わらの処理についてどうなっているのか。	市の方針としてはまだ決まっていない。なお、8,000ベクレルを超える指定廃棄物については、環境省で調査は一時棚上げとなっている。栗原市議会としては、最終処分場の深山嶽への建設については、絶対反対との意見で一致している。特別委員会ではこれからも調査をしていく。	築館
②	指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会の報告の「検出されず」や「影響なかった」は分析の誤りでないか。議会で独自に調査したのか。今後どう取り組んでいくのか。市の受け売りでないか。基準内であれば安全か。「検出されず」は基準内だから良いという考えであって、その基準が特措法の基準で「希釈・拡散」を見過ごした分析になっているのではないか。市では農業関係者から意見を聞いたと言っているがこの問題は市民全体に関わる事なので多くの市民の意見を聞くべきでないか。	微生物の一つを使って汚染牧草の堆肥化実験を金成の有機センターで行なった。それを栗駒鳥沢で試験をしたもので、調査結果については議会に報告された内容を記載したものである。議会としても市から報告を聞いた段階であり、今後調査していく	一迫
③	保管も一つの選択肢として調査項目に加えたことは素晴らしいことである。広く議論し、考えて進めてほしい。また栗原市の環境基本条例に放射能の規定も入れるべきでないか。	市内には汚染稲わらの一時保管施設が5か所あり、市民に負担をかけているが市民の協力も必要でありご理解願いたい。	一迫
④	放射能汚染の話題に触れないようにしていると大変になる。隠すのではなく、あることを前提にして、きちんとした対応をしてほしい。	意見として承る。	若柳
⑤	指定廃棄物の特別委員会が、議会改選で再編されているが、今までの特別委員会の取り組みを継続した対応になっているのか。最終処分場問題については、これからも注視してほしい。	栗原市・大和町・加美町の3市町が、詳細調査候補地を返上している。現在は、一時棚上げ状況になっている。これからも最終処分場建設には反対をしていく	栗駒
⑥	汚染牧草の処理、7種類について特別委員会で比較検討したのか。また今後、農業関係者から意見を聞くとなっているが、市でやることであり、議会や委員会の取り組みが見えない。8000bq以下を堆肥化でいいのかどうか議会としての考えを持つべきである。	処理方法7種類については市から報告を受けているということである。市は堆肥化が安全と思っているが、議員間ではいろんな意見があるので、今後堆肥化が本当に的確なものかも含め議論して行く。	栗駒
⑦	栗原市の汚染牧草の減容化の堆肥により生産した牧草の移行実績の数字はどうなっているのか。	栗原市では栗駒鳥沢のほ場に播種し、牧草を刈って確認したが、検出されなかったとの資料の提出があった。栗原市は、堆肥化による減容化を進めたい意向である。実施すれば面積は大きくなるはずだが、まだ示されていない状態にある。	高清水
⑧	報告では、検証による放射性物質は検出されず、周辺の空間放射線量、河川の水質にも影響がなかったというが、微量であっても、それが長年に渡っていけば、総量的に問題があるのではないか。	放射線量の総量規制などの法整備については、議会としても、今後検討すべき課題であると考えている。また、汚染された農林系廃棄物について、農業関係者以外でも、広く意見を求める市民会議のような設定を、市当局に働きかけることも必要であると思う。汚染牧草の処理方法については、まだ結論が出ていないので、市の判断を注視していきたい。	一迫

平成29年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨	地区名
⑨	400bqを超える汚染牧草は、すきこみの場所が制限されるということはどういうことか？	① 400bqを超える汚染牧草は、収穫した場所以外にすきこみできないと制限されている。	瀬峰
⑩	指定廃棄物について、県によると放射能濃度が下がってきているとしているが、その保管場所の下の土壌まで計測しているのか。	稲わらは5箇所ビニールハウスで保管中、牧草はロールで空き地に置かれている現状である。稲わら等の測定は行われているが、土壌については発表されていないのでわからない。なお、指定廃棄物の候補地については、棚上げになっており、牧草の処理については、今後農業関係者の意見を聞いて対応していくことになっている。遮水シートを敷いており、地下（土）に染みることはない。	鶯沢
⑪	指定廃棄物3,800トンある。2年契約だったはずなのに進んでいない。宮野火災のようになったら大変だ。現在は5600ベクレルまで下がっている。検討すべきだ。	保管を決定する説明会で、2年間ならと受け入れた経緯がある。今後特別委員会で調査していく。特別措置法があるためこのようになっている。市民と同じ気持ちでいる。知事選挙の第一声で村井知事が最終処分場ではなく。と話した。処分は国や東電がすることで国会議員等へ話し、法改正を求めていきたい。現在の保管方法で十分なのか、安全なのか、検証して進めたい。	志波姫
⑫	放射能廃棄物については国・東京電力がしっかりとやるべきであり、一番に汚れている福島に持っていくべきでないか。	処分方法を市で現在検討中であるが、もう少し時間がほしい。議会内でも議論したが、特別措置法によりできない状況である。	志波姫
⑬	山の産物の放射能汚染は大丈夫か。	きのこ、こしあぶら以外は大丈夫である。	志波姫